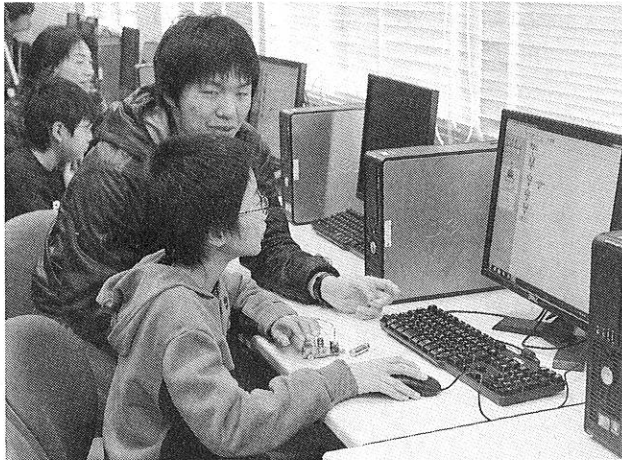


“より速く、確実に”

有明高専

小中学生がプログラミング

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校（福島健郎校長）は、このほど、同校で第八回エレクトロニクスものづくり体験教室を開いた。小中学生が黒い線に沿って走るライントレーサーの製作と制御のためのプログラミングに挑戦。学生の助言を受けながら、より速く、確実な動作を目指した。



プログラミングを楽しんだ参加者

同教室は同高専電子情報工学科主催、電子情報通信学会九州支部共催。子どもたちに理数系の学習とものづくりへの興味を持つてもらおうと毎年一回開催。人気は定着し、今年は大牟田、大川、荒尾市などの児童、生徒二十三人が参加した。

同教室の企画、運営は同科の学生ら十三人が担当。リーダーの同科五年、真崎瑛里さん

らはハンダ付けもしていたが、最近はプログラミングを重視。参加者は特別な言語を使わず、簡単にプログラムを組むことのできる専用ソフトウェアを操った。

（21）は「まず、子どもに興味を持ってもらうことが大切。楽しさを知ってもらえればうれしい」と話していた。（江頭 裕一）